

卒業に向けて育成すべき学生像

(ディプロマポリシー)

- (1) 医療人としての思いやりと、生命や健康を尊ぶ心を持つ
- (2) 歯科衛生士として必要な口腔保健と歯科医療の知識を備える
- (3) 臨床実践等に必要な口腔保健と歯科医療の技術を修得する
- (4) 多職種と連携し、チーム医療の一翼を担うねばり強い姿勢を身につける
- (5) 自ら課題を発見し、科学的論拠に基づいて解決しようとする探究心と向上心を持つ
- (6) 健康長寿社会の実現をめざす意欲と、口腔保健の実践力を身につける

[参考]

入学生に期待するもの

(アドミッションポリシー)

- (1) 生命の尊さに重きを置いている
- (2) 優しさと思いやりを持って他に対しようとする心を持っている
- (3) 何事においても努力を怠らない姿勢を身につけている
- (4) 生命科学を基礎に、一生懸命に学ぶ意欲がある
- (5) 健康の維持と増進に向け、歯科衛生の大切さに関心を持っている
- (6) 歯科医療の分野で社会に役立ちたいと思っている

学ぶべき内容と教育指導の方向性

(カリキュラムポリシー)

- (1) 医療人としての思いやりの心と倫理感を醸成する
- (2) 適切なコミュニケーションの力を持ち、患者の心身状況を理解する力を養う
- (3) 生命医学の基礎的な知識を修得し、臨床への応用や順序性について理解する
- (4) 保健・医療・福祉の現場における実践的な対応力を養成する
- (5) 他とともに課題解決しようとする姿勢を培い、論理的思考力や探究心を育成する
- (6) 社会の要請に対応できる歯科医療専門職としての知識と技術を積み上げる